

3月6日(日)



天然本マグロ

寿司盛りの

1パック

1,200円(税込)



西田鮮魚店

☎72-5246

専用番号 ☎090-7125-5489 <御用聞き便 (旧庄原市内はご自宅に配達)>

先週は、『もつ鍋セット』沢山お買い上げありがとうございました。『もつ鍋セット』来年も販売致しますので、楽しみにして下さいー！

今週は、天然本マグロ寿司を販売致します。前回は刺身をしましたが、沢山のお客様が喜ばれました。

今、天然本マグロの水揚げが多く、あまりにも美味しいし、脂のノリは一年の中でも一番良い時期になっています。それを、具たっぷりマグロ巻と、天然本マグロ寿司を盛合せ、マグロ好きには最高のコンビになっております。

私も食べましたが、めちゃめちゃ美味しかったです!!寿司は最高!!

このマグロ寿司盛り1200円税込。大変満足し、ボリュームある内容になっています。是非お買い求め下さい。

連日入荷しているけど、今回も入荷するかどうか?天然が入荷しない場合は、養殖マグロになるのでご了承下さい。あとは自然に任せます!!入荷してくれ、オラにマグロを届けてくれー!!

西田鮮魚店 店長 祐宗 優司

50年目のリニューアルなんだ！

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史

この3月31日に『三次CCプラザ』が閉館、2023年秋にリニューアルオープンというニュースを、去年の秋、中国新聞で知りました。50年の節目という文字が目には焼き付きました。

50年前ということは1972年。私は若干20才。三次高校を卒業してすぐ、両親が営む西田鮮魚店で仕事を始めて一年経ったころ。高校生気分が抜けず、両親に気を使わせてばかりの半人前とも言えぬ私でした。

私が『三次プラザ』（当時はCCは付いてなかったはず）の存在を強く感じたのは、1972年のお盆のことでした。この年の3月3日にオープンしたということですから、オープン5カ月後に初めてのお盆を迎えられたことになります。私は魚屋になって2年目とはいえ、子供のころから駆り出され、店を手伝っていましたから、お盆と、秋の祭り、年末の忙しさは、よく知っていました。ところが、この年、その猫の手も借りたいはずのお盆に、お客様が来られないのです。普段と同じ。飛ぶように売れるはずなのに売れない。市役所前にあった店の前で、暇を持て余しながら立っていました。2、3日してからだだったと思います。誰から聞いたのか、『三次プラザ』は大変な人出で賑わっているのだとか。その影響なんだ。

あの頃、私は父親と一緒に広島草津の魚市場に仕入れに行っていました。今と違って狭くて雑然とした市場でしたが、その分、めちゃくちゃ活気がありました。喧騒という言葉が、そのまま当てはまる、気を抜いていたら怒鳴られる、殺気さえ感じる空気が支配していました。

私が仕入れに行くようになって一年くらい経ったころでしようか。その草津の市場に突然、たくさんのお魚を買い付ける集団が現れました。それがまた半端な量ではないのです。やっと量販店というものが始まった時代です。家業に毛が生えたような規模の店がほとんどの頃ですから、仕入れの量も限られていました。そんな中、突如現れたその集団は、仲卸のお魚をごっそり買ってしまうのです。誰もが驚きました。そして、その集団は、いくつものグループに分かれていました。度肝を抜かれたその集団が『ヤマスイ』という店なのだと思えられました。当時、産声を上げて始めていた広島の大形スーパーに出店し、私も見に行きましたが、「こりゃあ売れるわ」と納得せざるを得ない店づくりでした。『これぞ魚屋』。それまで、誰も見たことのないような広い店。無い魚は無いと思わせる品揃え。値段も手ごろ。見せ方も上手。なにより、声掛けもそうだけど活気に満ち満ちていました。広島そごうに出店したと聞いて見に行ったときは、心底、スゴイと思いました。と同時に落ち込みました。これは敵わん。

それから7年後の1979年。『ジョイフルなぐえ』がオープン。父の決断で『西田鮮魚店』を出店。最初は『ヤマスイ』という良い手本がありながら、それまでの店を引きずった店を作り苦労しました。オープン初日、三次の『ヤマスイ』の店長が来られ、「なんで刺身を作って出さんの？」と質問されたことが思い出されます。考えもしませんでした。

町中の店の商売とショッピングセンターでのそれとは似て非なるものだと、それから思い知らされることになりました。一年ほど、鳴かず飛ばずの日が続きましたが、『ヤマスイ』に刺激を受けながら、独自の『西田鮮魚店』を作り上げることができました。その『ヤマスイ』が『三次プラザ』の『マルシヨク』の中に出店していました。私にとつての『三次プラザ』は『ヤマスイ』であり、リスペクトの対象でした。

そんな『三次CCプラザ』が建て替えられリニューアルされる。半世紀ですからね。当然と言えば当然です。建物の老朽化は如何ともし難い。でも、それ以上に時代の流れには逆らえないということか。

50年前には影も形も無かったコンビニが旧庄原の町でさえ6店舗、町のお店はほぼ姿を消してしまいました。我が家の子供たちはパソコンでお買い物。孫たちはテレビ番組など見ようとしません。YouTubeです。

『三次CCプラザ』のリニューアルがどういう風になるのか知りませんが、ネットで見るかぎりでは名称が『フレスポ三次プラザ（仮称）』となっています。『フレスポ』といえば近隣では『フレスポ西風新都』。うちの『すし辰』も出店させていただいています。あんな風に駐車場を囲んで店が並びんじやろうか？ やっぱり平屋？ 核店舗はどこが入るんじやろ？ 名前の通ったブランドの店が入るんじやろうか？ 地元のお店はどうされるんじやろ？ 興味は尽きません。

庄原の一步前に行く三次がどんな道を選択されるのか。新しい時代の商業集積。楽しみです。



「三次 CC プラザ」